

株式会社アドバンスクリエイト
平成27年9月期
業績説明資料

(平成26年10月～平成27年9月)



平成27年11月11日



本誌取扱上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

目次

<u>I. 平成27年9月期の状況</u>	4
■ 決算概要	5
■ 営業管理データ	9
<u>II. 当社の戦略について</u>	17
■ はじめに	18
■ ビジネスモデル	20
■ マーケティング戦略	23
■ 投資戦略	25
■ 管理体制	26
■ 資本政策	28
■ 総括	29

I . 平成27年9月期の状況

平成27年9月期 決算ハイライト

連結業績

売上高は、**7,274百万円**となり、前期比187百万円の減収
営業利益は、**1,153百万円**となり、前期比22百万円の増益
経常利益は、**1,143百万円**となり、前期比36百万円の増益
当期純利益は、**644百万円**となり、前期比11百万円の減益

配当については、第2四半期は20円、期末は記念配当2.5円を含む22.5円、年間合計1株当たり42.5円の配当を実施予定です。

平成27年9月期 損益計算書（連結）

(単位:百万円)	平成26年9月期	構成比(%)	平成27年9月期	構成比(%)	前期比 増減率(%)
売上高	7,462	100.0	7,274	100.0	▲ 2.5
保険代理店事業	6,634	88.9	6,376	87.7	▲ 3.9
広告代理店事業	374	5.0	342	4.7	▲ 8.5
再保険事業	453	6.1	555	7.6	22.7
売上原価	1,741	23.3	1,424	19.6	▲ 18.2
売上総利益	5,720	76.7	5,849	80.4	2.2
営業費用	4,588	61.5	4,695	64.5	2.3
営業利益	1,131	15.2	1,153	15.9	1.9
保険代理店事業	963	12.9	1,019	14.0	5.8
広告代理店事業	83	1.1	76	1.1	▲ 8.5
再保険事業	81	1.1	55	0.8	▲ 32.8
経常利益	1,107	14.8	1,143	15.7	3.3
当期純利益	655	8.8	644	8.9	▲ 1.8
一株当たり当期純利益(円)	62.57		59.04		

- 売上の状況は、再保険事業が引き続き堅調に増加推移したものの、保険代理店事業において一部の保険契約の成立状況が10月以降にずれ込んだこと等により、全体としては前期比で減収となりました。
- 営業利益及び経常利益の状況は、再保険事業において想定を上回る保険金支払が発生し利益を押し下げたものの、保険代理店事業において、効果的なWEBマーケティングによるコストコントロールの実施並びに業務プロセス・マネジメントを徹底した結果、前期比で増益となりました。

平成27年9月期 貸借対照表（連結）

(単位:百万円)	平成26年9月期末	平成27年9月期末	増減
流動資産	4,011	4,177	165
現預金	517	1,667	1,150
売掛金	3,105	1,494	▲ 1,611
未収入金	23	545	522
その他	365	469	104
固定資産	2,995	3,181	186
有形固定資産	623	572	▲ 50
無形固定資産	479	587	108
投資その他の資産	1,892	2,021	128
繰延資産	5	2	▲ 3
資産合計	7,012	7,361	348

(単位:百万円)	平成26年9月期末	平成27年9月期末	増減
流動負債	1,585	1,768	183
短期有利子負債	374	358	▲ 15
その他	1,210	1,410	199
固定負債	1,074	781	▲ 292
長期有利子負債	666	403	▲ 262
その他	408	377	▲ 30
負債合計	2,659	2,550	▲ 109
資本金	2,915	2,915	-
資本剰余金	475	352	▲ 122
利益剰余金	1,258	1,473	214
自己株式	▲ 393	▲ 14	378
その他	96	83	▲ 12
純資産合計	4,352	4,810	458
負債及び純資産合計	7,012	7,361	348

【資産】

資産合計は、前期末比で348百万円増加しております。
 主な増加要因は、その他流動資産の増加(104百万円)、システム開発による無形固定資産の増加(108百万円)、投資有価証券等の増加に伴う投資その他の資産の増加(128百万円)によるものです。

【負債及び純資産】

負債合計は、前期末比で109百万円減少しております。
 主な減少要因は、その他流動負債が増加(199百万円)した一方、社債の償還等により長期有利子負債が減少(262百万円)したことによるものです。

純資産合計は、前期末比で458百万円増加しております。
 これは、期末及び中間配当の実施より利益剰余金が減少したものの、当期純利益の計上及び新株予約権の行使等に伴い自己株式が減少し、純資産が増加しております。

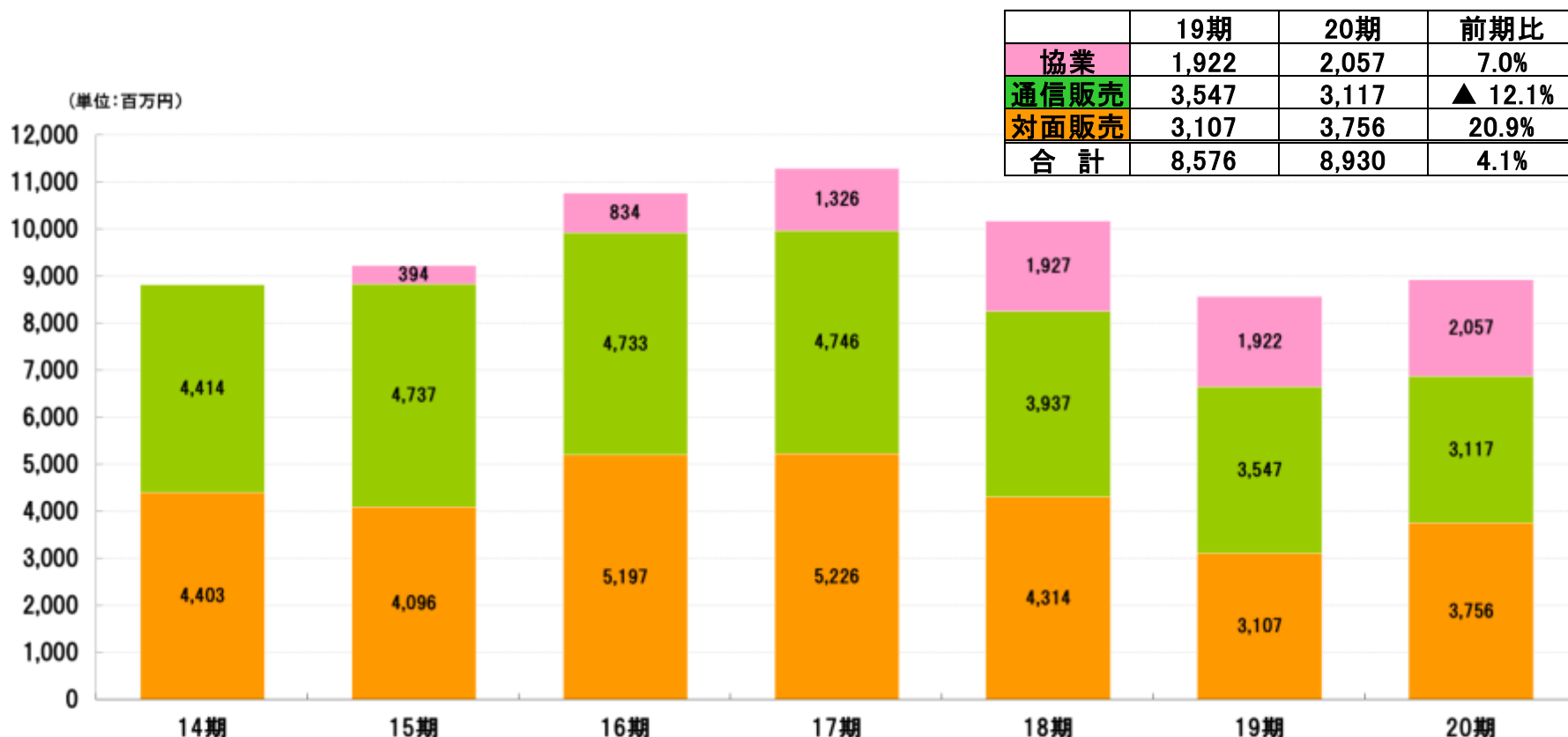
平成27年9月期 キャッシュ・フロー計算書（連結）

(単位:百万円)	平成26年9月期	平成27年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	489	2,155	1,666
税金等調整前当期純利益	1,092	1,038	▲ 54
減価償却費	342	359	16
売上債権の増減額	▲ 627	1,605	2,233
その他	▲ 318	▲ 847	▲ 528
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 12	▲ 450	▲ 437
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 961	▲ 554	406
有利子負債の増減額	▲ 380	▲ 200	180
配当金の支払額	▲ 417	▲ 429	▲ 11
その他	▲ 164	74	238
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	▲ 0	0
現金及び現金同等物の増減額	▲ 485	1,150	1,635
現金及び現金同等物の期首残高	1,000	514	
現金及び現金同等物の期末残高	514	1,664	1,150

営業活動による収入は2,155百万円(売掛金の減少等)となり、投資活動による支出450百万円(無形固定資産の取得等)、及び財務活動による支出554百万円(配当の支払・有利子負債の返済)があったものの、現金及び現金同等物は前期末に対し1,150百万円増加し、1,664百万円となりました。

チャネル別申込ANPの推移

対面販売チャネルが牽引し、前期比**4.1%増**



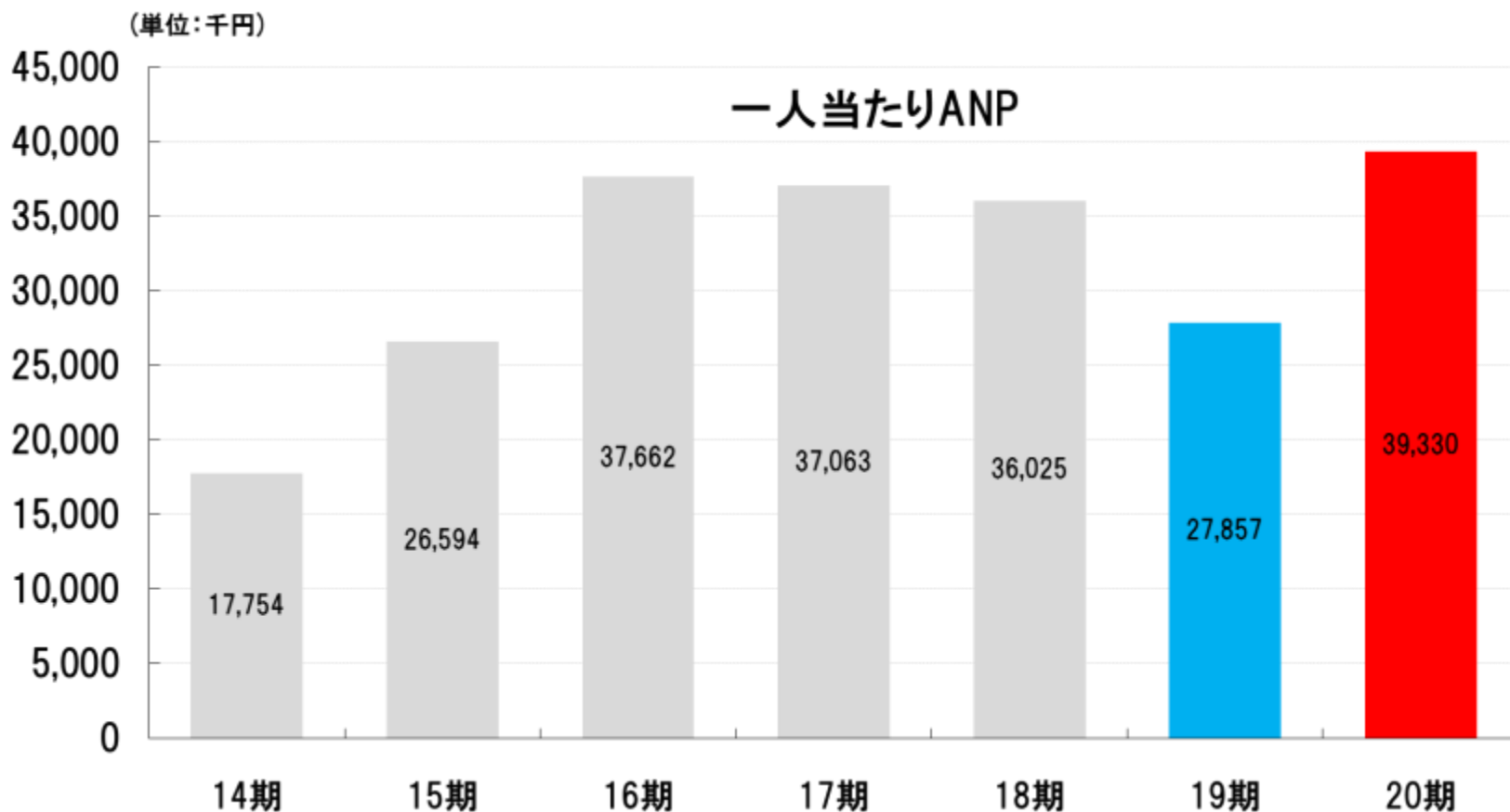
※ANPとは新契約年換算保険料の意味で、月払い保険料5,000円の場合、ANPIは60,000円となります。

※当社グループの収益は、新規申込ANPベースでの収入の他、既存の保有契約ストックから得られる保険代理店手数料収入や、広告代理店事業収入、再保険事業収入等で構成されております。

※直近四半期については速報値ベースで記載しております。

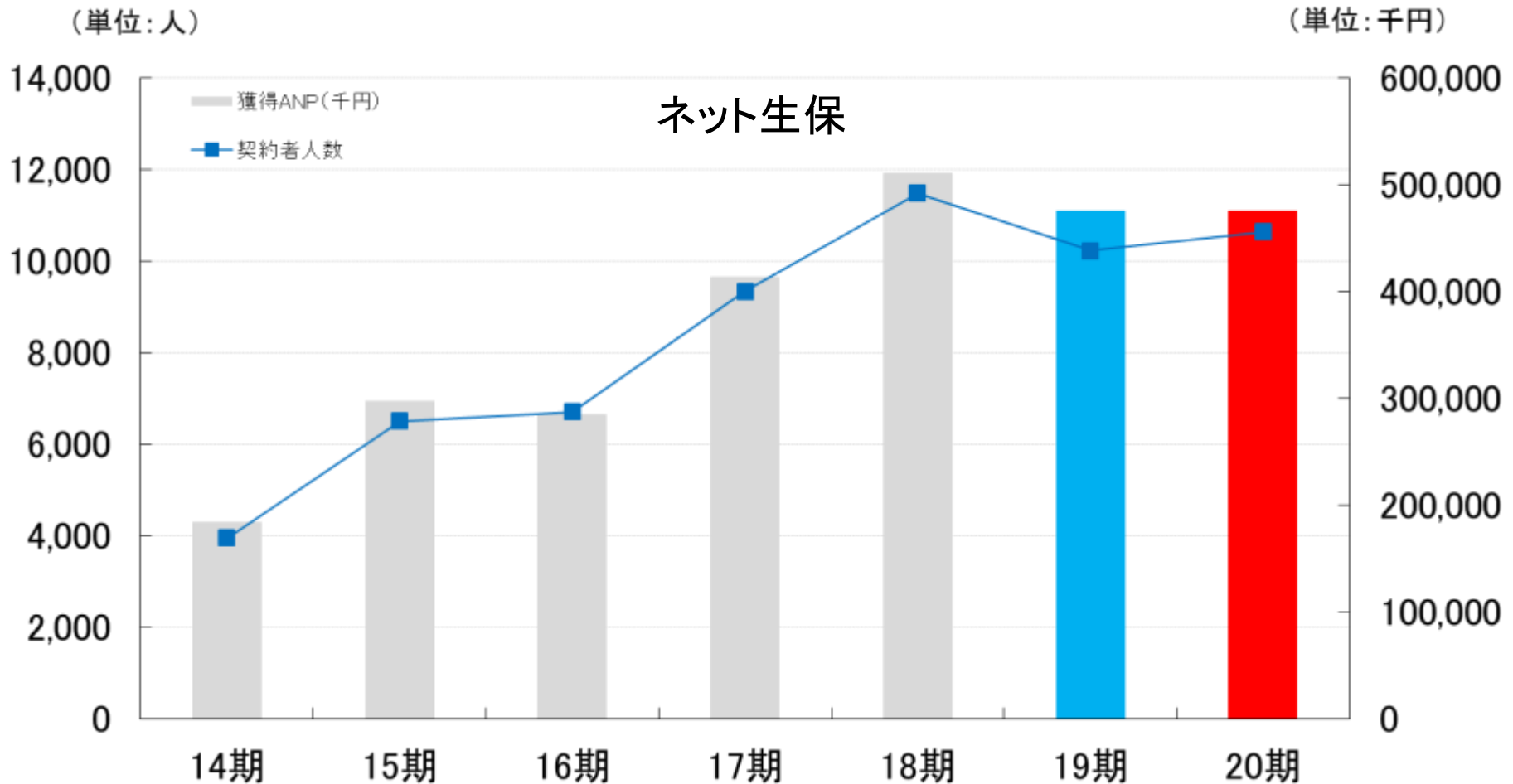
対面一人当たりANPの推移

業務プロセス・マネジメントの徹底により、前期比**41.1%増**



ネット生保ANPの推移

効果的なWEBマーケティングにより、ネット保険の申込は堅調に推移



協業ANPの推移

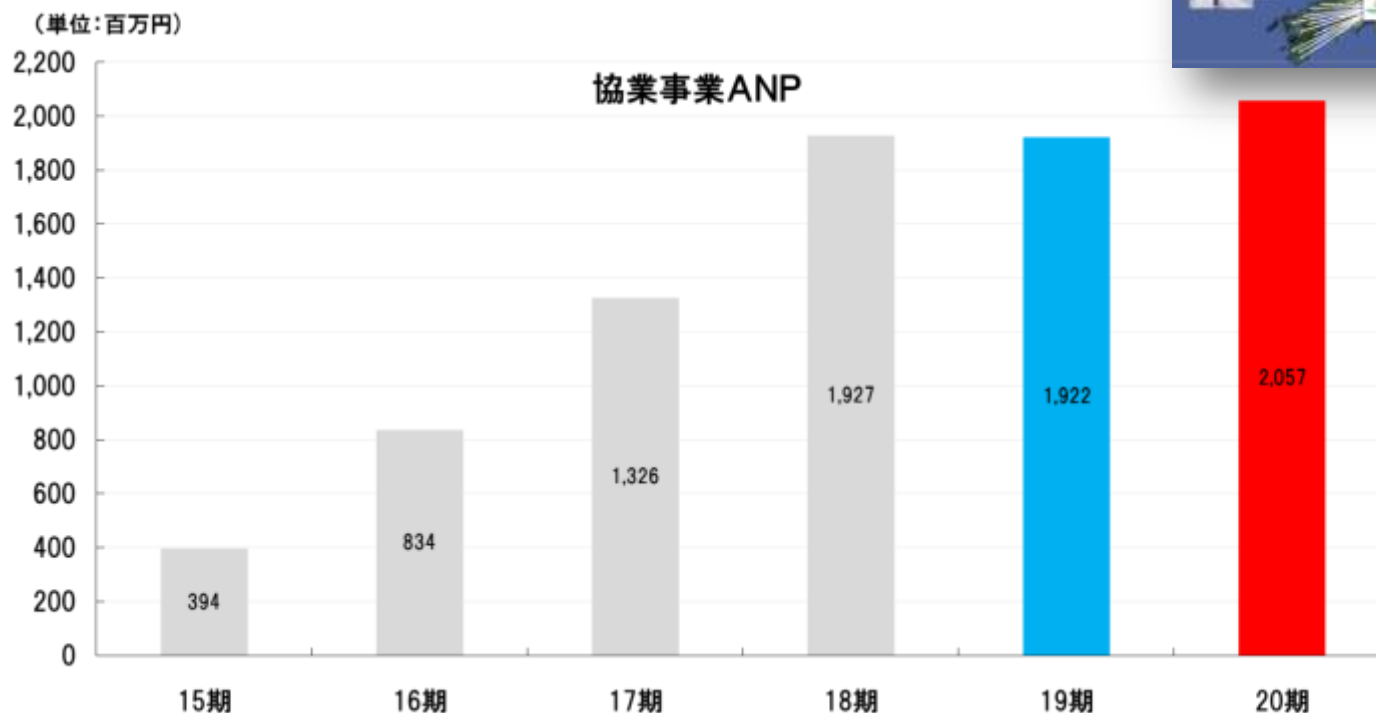
管理体制強化のため提携先の集約化を図り、提携社数は46社減少しているもののサービスの質の向上により協業申込ANPは堅調に推移

■ ショップ・テレマーケティング・訪問 多様な協業チャネルにより全国展開

■ お客様に対し、最適なコンタクトポイントの提供

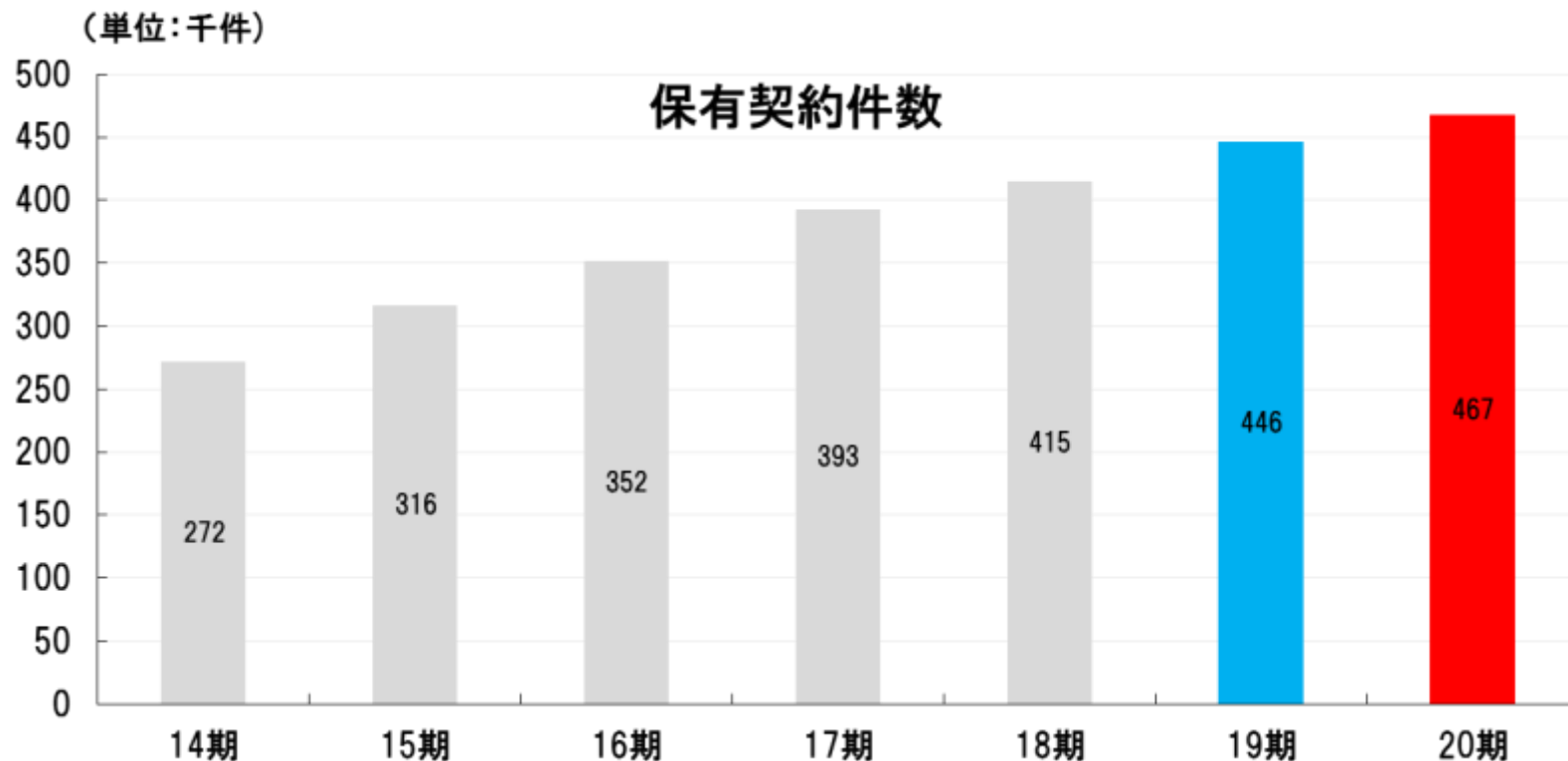
【提携代理店 170社 提携店舗 334店 提携稼働募集人 約50千人】※平成27年9月30日現在

(第19期末における提携代理店社数 216社)



保険契約件数の推移

保有契約件数は順調に増加し、前期と比較し**4.7%増**

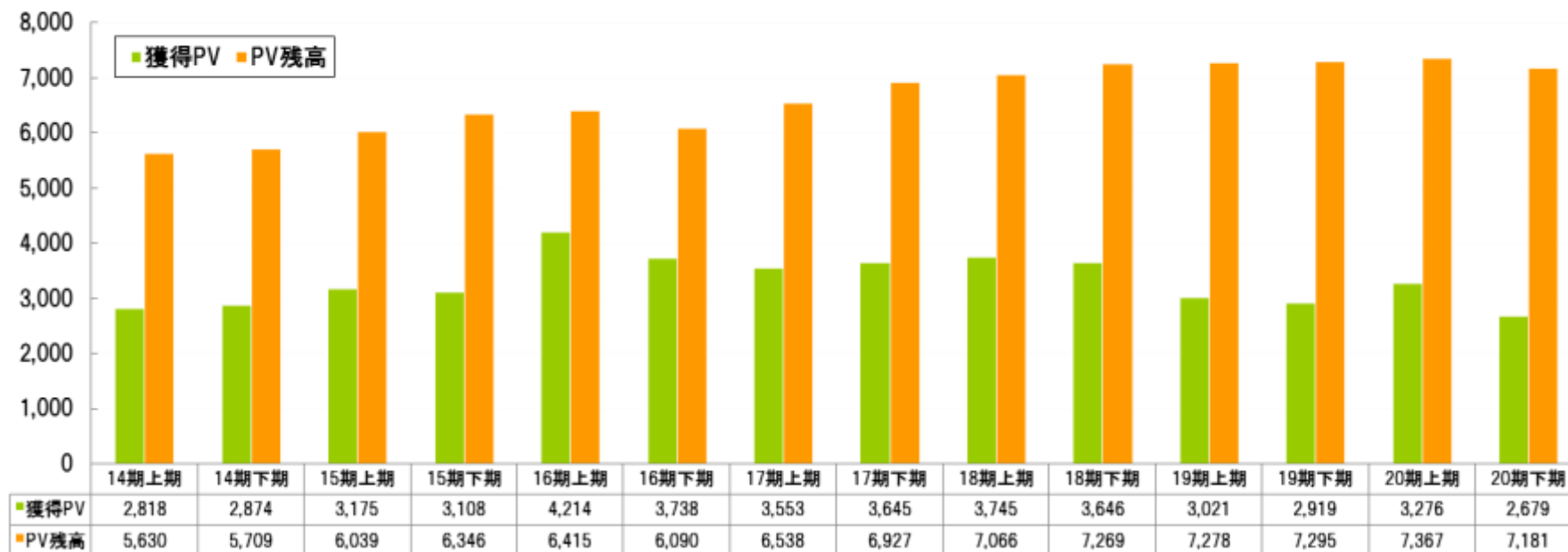


※ 保有契約件数の対象となるものは生命保険・医療保険等継続・更新されるものとし、短期傷害保険分(旅行保険等)については除いております。

PV推移（保険代理店事業収益現在価値）

20期下期の獲得PVは2,679百万円となり、PV残高は7,181百万円となる

(単位:百万円)

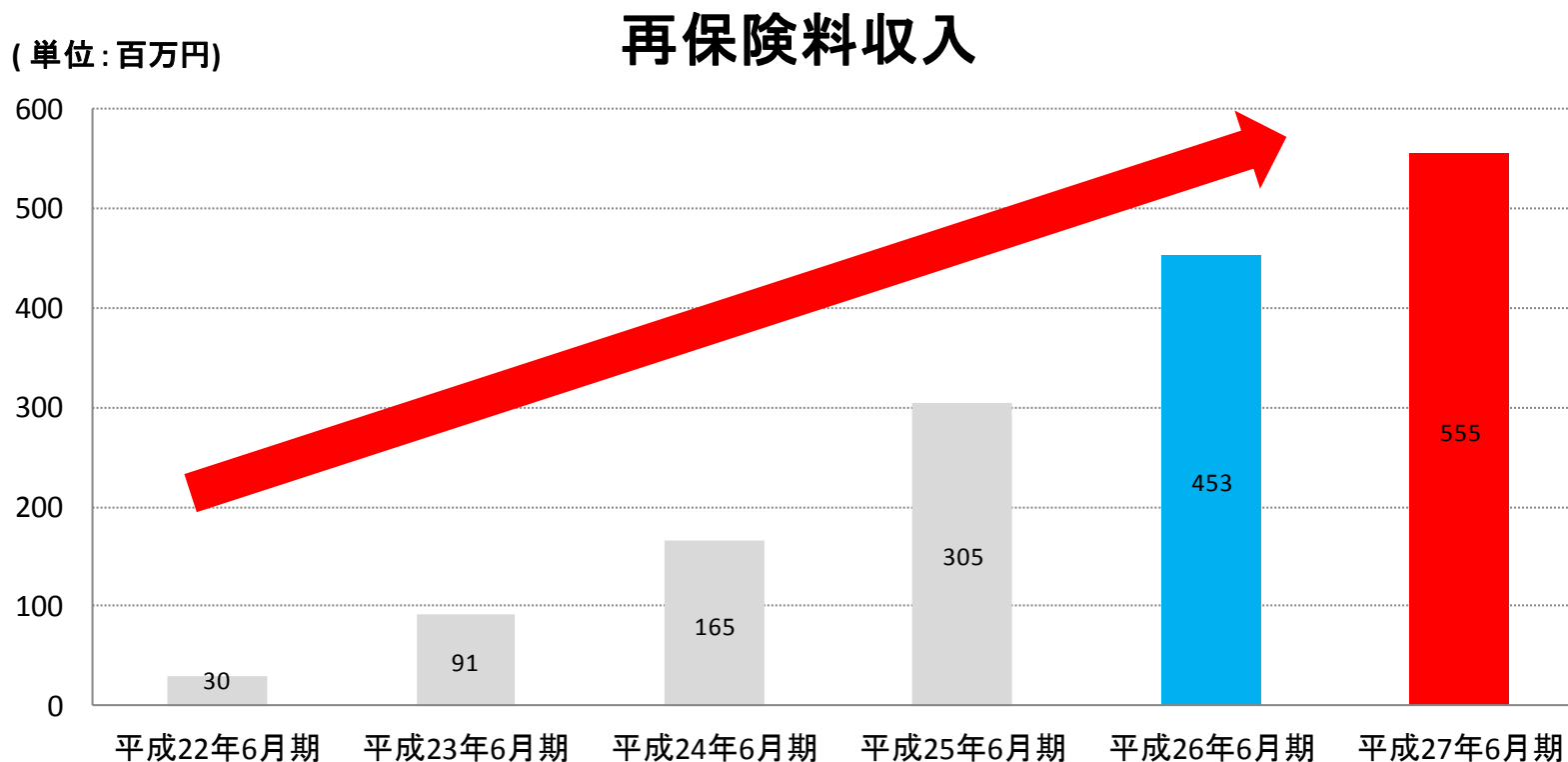


※1 PV(Present Value)とは当該期の新規契約より発生する保険手数料の収入見込額の現在価値を表し、申込ベースの金額から成立率、解約率、還元率を勘案して算出されたシミュレーション数値です。

※2 第18期上期より手数料率及び継続率等を最新の情報に見直しを行う等、算出方法の変更を行っております。当該変更に伴い期間比較を容易にするため、過去の計算結果についても最新の算出方法に基づき再計算しております。

再保険事業収入推移

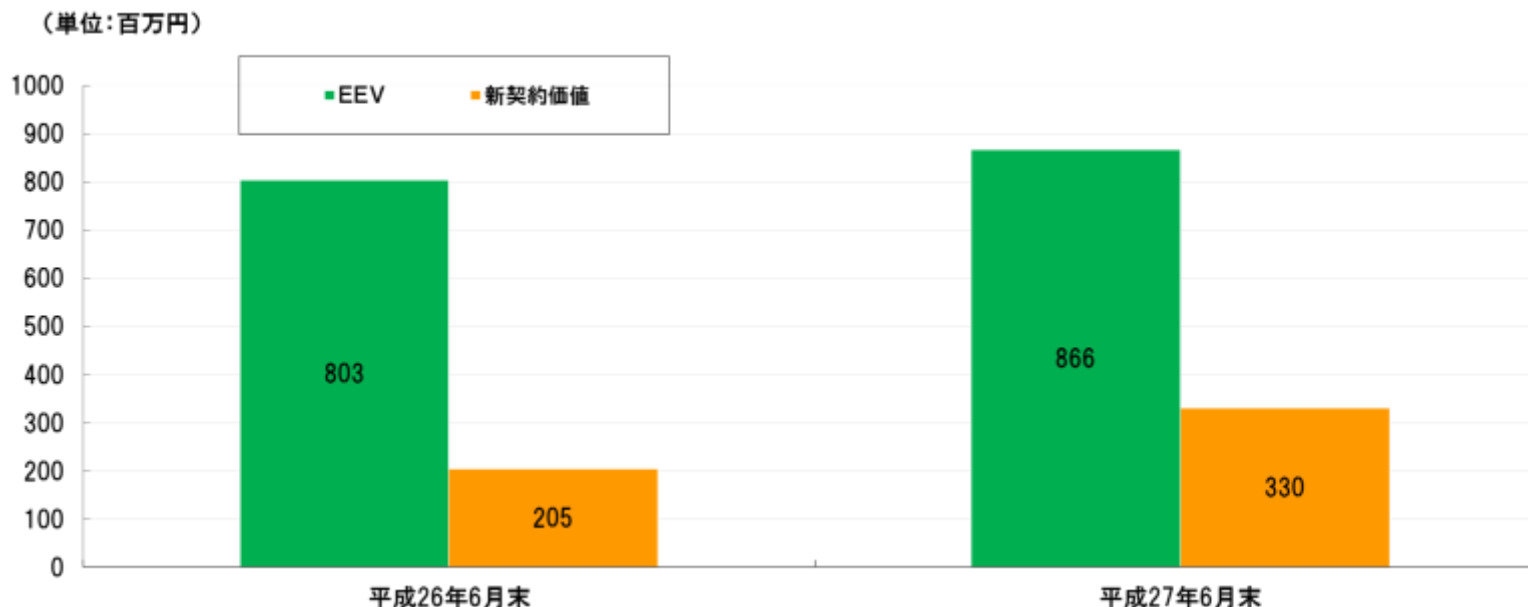
再保険事業収入は引き続き大幅な伸びを示し、前期比**22.7%増**



10社(生命保険5社、損害保険2社、少額短期保険3社)の再保険引受

EEV推移（再保険事業収益現在価値）

再保険子会社Advance Create Reinsurance Incorporatedの2015年6月末現在のEEV(ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー)は866百万円、当期の新契約価値は330百万円



※1 EV(Embedded Value)とは、潜在する株主配当可能利益の現在価値を示す指標であり、新契約獲得時に将来の利益貢献を認識することにより、財務会計情報を補足する指標となります。当社は生命保険会社で広く採用されているヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)を採用しております。

※2 EEVの計算は、専門的知識を有する第三者機関である有限責任監査法人トーマツに検証を依頼し意見書を受領しております。修正純資産、保有契約価値、新契約価値等の用語の意味並びに詳細な計算方法及び有限責任監査法人トーマツによる意見は、平成27年11月11日に開示しております「平成27年9月末におけるアドバンスクリエイトのプレゼント・バリューと平成27年6月末における再保険子会社のヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

Ⅱ. 当社の戦略について

創立20周年及び東証市場第二部への市場変更

感謝

おかげさまでアドバンスクリエイトは、本年10月4日に創立二十周年を迎えるとともに、同10月16日をもちまして東京証券取引所ジャスダック(スタンダード)から、市場第二部へ市場変更いたしました。



当社の保険通販専門代理店としての変遷

ポスティング(1997年)



WEBマーケティング(現在)



保険通販専門代理店という一貫した軸

ロジスティクス



高い認知度



データベース



高い生産性



ダンベル型ビジネスモデル

情報差益と死差益を収益源としたビジネスモデル



※生命保険には、利差益・費差益・死差益の3つの利源があります。そのうち死差益とは、想定した死亡率と実際の死亡率の差によって発生する利益のことを指します。

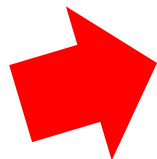
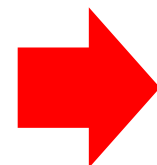
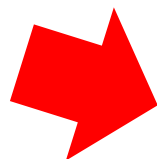
収益のポートフォリオ

保険に関するあらゆる収益機会へのアプローチ



チャネルのポートフォリオ

WEBで集客し、あらゆる販売チャネルでアプローチ



保険市場

HOKEN ICHIBA
The Insurance Market Place



ネット完結

通信販売

対面販売

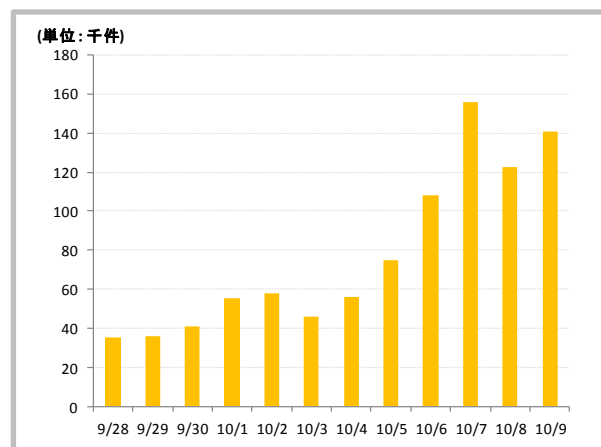
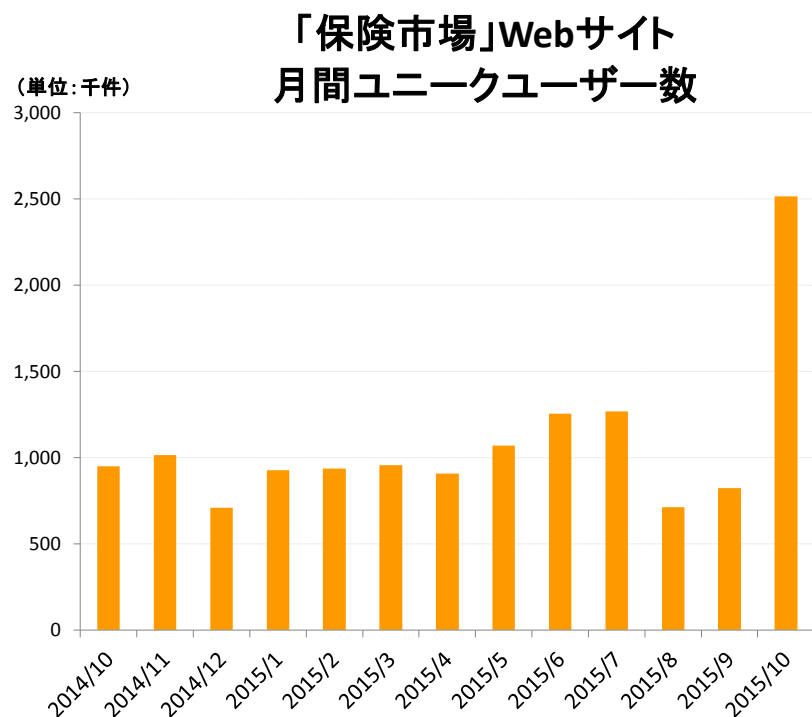
協業

WEBマーケティング

月間ユニークユーザー数が好調に推移

ターゲットを明確にしたWEBマーケティングを実施。

「保険市場」Webサイトへのユニークユーザー数が好調に推移し、コスト効率が更に向上。



対面販売チャネル

事業再編の発展型



千里中央
サテライトプラザ

千里中央
コンサルティングプラザ

千里中央サテライトプラザの統合



梅田阪急コンサルティングプラザ
リニューアル イメージパース

投資戦略

ROI(投資対効果)の極大化を図る

◆IT・システム投資

- システム投資の継続・強化
- 『IT』から『AI』へ
→AIと人材の相乗効果により、
より高い次元でのセキュリティと
環境変化へのフレキシブルな対応



◆人材投資

- 採用活動の強化
- 積極的な人材投資
- 福利厚生制度の充実
→リフレッシュルーム、託児所の設置
による働きやすい環境の提供



管理体制の強化

従前より整備を行ってきた管理体制を強化・継続

◆改正保険業法への対応

◆ガバナンス体制・コンプライアンス体制

平成27年12月の株主総会にて社外取締役を現状の1名から2名体制に追加
各種特設委員会の運営

(ガバナンス委員会、コンプライアンス委員会、社内プロジェクトチーム 等)
コンプライアンス研修の実施・自社法務部門による牽制

◆情報セキュリティ

個人情報保護体制の構築・情報セキュリティ監査の実施
担当部署による有人監査体制の確立

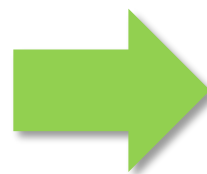
◆提携先代理店の個人情報管理体制の確認

提携先の管理体制水準の向上を目的とした監査の実施

情報セキュリティの強化

情報セキュリティ体制の強化は引き続き最重要課題と認識

情報セキュリティ課の設置



自己牽制

情報セキュリティ監査の実施



外部牽制

社員教育の徹底



倫理観の醸成

株主の状況

【平成27年9月30日現在】 株主数 9,371名

■ 上位10名

株主名	所有株数	持ち株比率(%)
有限会社濱田ホールディングス	2,206,200	20.05
濱田 佳治	959,400	8.72
メットライフ生命保険株式会社	549,600	4.99
濱田 亜季子	472,200	4.29
富国生命保険相互会社	450,000	4.09
住友生命保険相互会社	410,000	3.72
太陽生命保険株式会社	365,500	3.32
AIG富士生命保険株式会社	273,000	2.48
三井住友海上火災保険株式会社	249,400	2.26
株式会社アイレップ	205,000	1.86

【株主還元】

配当については、第2四半期は20円、期末は記念配当2.5円を含む22.5円、年間合計1株当たり42.5円の配当を実施予定です。
連結での配当性向は72.0%となります。

決算情報ハイライト

(単位: 百万円)

連結	17期 通期実績	18期 通期実績	19期 通期実績	20期 通期実績	21期 通期予想	前期比
売上高	7,054	7,625	7,462	7,274	8,290	14.0%
営業利益	1,087	1,295	1,131	1,153	1,330	15.3%
経常利益	1,052	1,258	1,107	1,143	1,300	13.7%
当期純利益	569	648	655	644	760	18.0%
売上高経常利益率	14.9%	16.5%	14.8%	15.7%	15.7%	
ROE	14.8%	16.2%	15.6%	14.1%	15.3%	

目標とする経営指標

ROE	20%以上
売上高経常利益率	20%以上
配当性向	50%以上
自己資本比率	80%以上



お問合せ先

管理部

大原 勲

TEL

06-6204-1193(代表)

メールアドレス

acir@advancecreate.co.jp

URL

<https://www.advancecreate.co.jp/>